

## 中国における地域特化、都市化と製造業企業の生産性

### 要旨

本論文は、大規模な中国企業レベルのデータを利用し、地域特化の経済だけでなく、都市化の経済が中国企業の生産性に正の影響を与えたかについて実証分析を行うものである。回帰分析の結果から、第1に、地域特化の経済（同じ市における同じ4桁産業内(own-industry)ある企業の周辺に立地する企業の数あるいは雇用者数）が企業の生産性に正で有意な効果を有すること、第2に、都市化の経済、特に、同じ2桁産業内他の4桁産業(related-industry)に属する企業からの外部性が企業の生産性に正の影響を与えること、第3に、中小都市より大都市に立地する企業が異なる2桁産業間(other-manufacturing)の都市化の経済を享受することが示される。また、本論文は1998年、2003年、2007年3時点、3~4年の間隔をもつデータを用いるため、推定結果は集積の短期的な効果（たとえば、労働力の確保、中間財の調達、産業間・企業間の取引）より長期的な効果（たとえば、産業内と産業間の知識・技術のスピルオーバーが挙げられる。その実現はより長い期間かかる。）を捉えていると考えることができる。これらの発見を通じ、本研究は中国における集積と企業の生産性に関する研究に貢献できる結果を示すものであると主張できる。